

委員会のうごき



産建

特産協関連予算を一部修正



産業建設常任委員長
矢野 昭三

● 次の指定管理者が決まりました

- ・ 農林業基盤整備用機械施設
- ・ 森林総合センター
- ・ 漁村センター及びホエールウォッチングセンター
- ・ 観光推進事業休憩施設
- ・ カツオのタタキ作り体験等交流施設
- ・ 漁船漁業用作業保管施設

● 22年決算

★ 一般会計決算

産業振興推進総合事業費で早咲地区に地域特産品処理加工及び販売施

設が整備されたことや、こうち農業確立総合支援事の導入で佐賀小黒ノ川にJAが主体となった堆肥場建設が行われた。

★ 水道会計事業特別会計決算の認定では、本事業は成熟したといえる。今後は住民負担をいかに抑えて運営して行くかが課題となるという監査委員の意見を伺った。

★ 農業・漁業集落配水事業特別会計では、加入者が増えないことが問題となったが、これ以上増加は見込めないのではないかとの意見が出ました。今決算は認定するが、今後の運営方法を具体的に試算し検討して行く必要があると指摘をしました。

執行部からも今後のコミュニケーションを作り具体的な検討に入るとの答弁をもらった。

● 平成23年度黒潮町一般会計補正予算

★ 特産品開発協議会を第三セクターとして法人化するための予算16万3千円が計上されていたが、6月議会で指定管理者に認定したばかりなので、一期の決算を確認した上で方向性を決めるべきとの意見が出され、本議会に提案された予算を削減する修正案を提出することとしました。

★ 大方高校生が黒潮町のPRをするために龍馬ふるさと博覧会や東京のまるごと高知でカツオたたきバーガーを販売したりチラシを配布するために派遣されることになりました。

● 高規格道路（窪川〜佐賀）延伸計画に伴う宅地26区画の字名を「佐賀白石続キ山」と変更されました。

